

相談お知らせ



昨年市が処理したゴミの量は、およそ一万五千トン、ゴミはここの二三年の間に約一〇%かた増えました。四十九年度中は、不況を反映してか、ゴミの量は例年に比べややにふりまく。でもまたいつ増えてくるかわかりません。ゴミ処理の費用は大きく、しかもこの費用は市民に還元されません。こんなムダな費用を少しでもなくするためには、ゴミの減量と、ゴミ処理における市民のみならず



ゴミ・レイン・ボー作戦

ちからの協力が必要で。

紙上からお願いするクリーンなまちづくり。題して「ゴミ・レイン・ボー作戦」。ぜひ手を貸してください。

今号からゴミ収集・処理の現況をみながら、数回にわたって「ゴミ問題」を考えました。

× × ×

クリーンなまちづくり

ゴミは「捨てる」という行為から始まります。これは、生活を営む私たち誰にでも経験のある行為です。「おれ一人くらの捨てる量は、たかが知れたもの」と思えば確かにそのとおりで、でも一人がそう思っているに「アキ缶」をポイッと捨て

る。それが十人、百人、千人となるとその処理は簡単にはいきません。大変な量になることは容易に想像できることです。新津市のゴミ処理の方法は、現在燃やす、埋めるの二つの方法をとっています。しかし燃やすという方法は、毎日大

ン能力の新しい炉を建設しましたが、これまで使っていた古い三十トンの炉もフルに使わなければ追いつかないという大変なゴミの量を処理しています。

いっぽう、埋め立て処理する方法はというと、害虫の発生や悪臭・粉塵といった環境衛生に配慮しなければなりません。それに埋立て適地も必要です。こんな関係で新津市では、残り加害者であるといえます。

ない「モノ」だけを埋め立て処理をしています。このようにゴミの処理は、さまざまな困難をかかえている関係で、「ゴミ」に関しては私たちすべてが被害者であり加害者であるといえます。



増えるゴミの量、処理する費用も大変です

法律相談

今月は次の相談所が開かれます。申込みは市民課です。なお申込み多数の場合は、次の相談日に戻ってもらうことがあります。

- とき：四月二十五日◎
- 午前十時から午後三時まで
- ところ：記念公会堂
- 担当者：弁護士



身障者たちが25周年式典——*

4月6日、身障者のみなさんたち150人が青年研修所に集まって、総会と式典を聞き身障福祉法施行25周年を祝いました。

総会は、49年度中にみんなで進めた活動報告があり、今年の計画では、情報機関紙の発行や、いろいろな活動をとって「心のしあわせ」を追求していく——ことなどを決めました。

式典に移って、永年勤続役員と25年補佐家族の表彰を行いました。また記念講演では、郷土史研究家の田村順三郎先生から「仏教の話」を聞き、終わってみんなでレクリエーションを楽しみました。

お買物、ご用命は市内で

御婚礼着付・コールドパーマ

アメリカ生まれのカバーマーク化粧品店

本店…渡辺美容室

支店…栄美容室…新栄町

(本店) 本町3丁目ウラ通り TEL (2) 0626



東芝

東芝ストア

より良いサービスと
楽しい暮らしに奉仕する店

(株) 八重電商事

本町二 TEL 4-3131(代)